

日付	11/10 (火)	人数	7人			
参加者	相生商工会議所青年部					
主な意見						
(若者が求める住環境等の整備)						
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でテクノロジーにより都市部でなくても働けることがわかつた。新しい人を呼び込むために住環境の整備が求められている。 土地が安く、空き家も多くある。土地代から解体費を引くと赤字になってしまうため土地を手放せない。解体費の補助があれば流動性が高まるのではないか。 新幹線があり便利だが、使える土地が少ない。 行政が行う婚活（ひょうご出会いサポートセンター）は堅苦しい。楽しそうな雰囲気がもっと必要ではないか。 						
(産業の新陳代謝を高める対策が必要)						
<ul style="list-style-type: none"> 起業が少なく雇用がないため、隣のたつの市や赤穂市より住宅着工件数が少ない。 起業するとき場所を探すのに苦労した。市街化調整区域が多すぎる。 商店街があるがシャッター通りになっている。一階が店舗で二階が住居になっており、流動性が低く、新しい事業への活用の仕方が難しい。 						
(地域外から集客できる観光資源の創出)						
<ul style="list-style-type: none"> 造船で大きくなったマチであり観光に対して無知。湾を活かしきれていない。 ペーロン祭りに参加する若者が減っている。 ドラゴンボードアジア大会を一度開催したが、ペーロン協会といろいろあってなくなってしまった。 前日の花火には人が集まるが、ペーロン祭りはやっている人だけが楽しい状況になっている。 						
(地域の核となる公共施設の整備)						
<ul style="list-style-type: none"> 相生市には県の施設がない。県の施設を作つてもらい、それを中心に活性化したい。 						